

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスりあんず		
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日		令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33人	(回答者数) 33人
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日		令和6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	休校日以外は、その日のスケジュールの確認や利用児童の情報共有、前日の利用児童の情報共有のためのミーティングが行われている。	パートスタッフが参加できない時間での実施になるため、その日の児童の支援留意事項確認と振り返り記録用のミーティング記録帳を作成し、情報共有を行っている。	パートスタッフとも情報共有を深めるため、記録帳の充実を図ったり、ミーティング実施の時間を変更する等を行う。
2	月毎にクッキングイベントを実施している。	季節を意識したクッキングになるように工夫している。	季節感だけでなく、児童の課題に向き合う経験ができる作業を含めた内容を検討していく。

3	<p>集団の中での経験を積み重ねて、個々の成長に繋がるように支援している。</p>	<p>小学1年生から高校3年生までの異年齢の集団で過ごすことで、低学年は高学年の言動を見て学び、高学年は低学年への適切な接し方（言葉の使い方や力加減、ルールの設定等）を学べるように支援している。</p>	<p>個々の発達段階に応じた、さらに細かい課題の設定と評価を行えるように、日々の活動の準備を行っていく。</p>
---	-------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>現状の施設はバリアフリーな環境ではない。</p>	<p>古い一軒家を改修して使用しているため、段差が大きかったり、出入り口が狭かったりしている。</p>	<p>新しい施設は、バリアフリーな設計で、色あいや動線にも配慮した。</p>
2	<p>家族支援プログラムが実施されていない。</p>	<p>保護者会の実施を検討しているが、スタッフの業務負担が増えたり、運営・実施を継続することに心配がある。</p>	<p>保護者会に限らず、保護者が参加できる研修会の案内や、保護者と一緒に参加ができるイベントの実施等を検討し、保護者会に発展させられるような工夫をしていく。</p>
3			